

平成 31 年 01 月 23 日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

- ・日時 平成 30 年 12 月 10 日(月)14:00～
- ・場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 27 階会議室
- ・出席者 審議委員総数 8 名
出席審議委員数 8 名

(出席委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社企画事業本部 本部長補佐)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会理事長)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)

(衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉 (代表取締役社長)
- 谷 俊之 (編成局長)

(番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

- 藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)
- アイリーン・ハンベルガー (編成 ディレクター)
- 竹内 文吾 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

- ・議題 (1) ディズニージュニアの番組編成について
(2) 審議番組「バンピリーナとバンパイアカぞく」について

・議事内容

(以下、*：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニージュニアの番組編成について

→この冬、12月には色々なTVシリーズでクリスマス用のエピソードを放送する特別編成を組んでいる。

→また、この時期はお子さんたちも休みに入るため、年末年始を含めた約2週間にわたって、冬休み編成を組んでいる。それに伴い、新たに「マペット・ベビー」というシリーズも放送開始となる。

このシリーズは、「セサミストリート」などを手掛けた **Jim Henson** が生み出したキャラクターが登場しており、マペッツが子供になった設定で、彼らの日常の暮らしが描かれている。

(2) 審議番組「バンピリーナとバンパイアカゾク」について

放送概要：

2018年06月17日(日曜)より放送開始、レギュラー枠は土日の13:30～と20:00～等。

各22分(2話構成)×25本～

番組内容：

バンピリーナは歌とダンスが大好きなドラキュラの女の子。両親とペットと一緒に、モンスターの故郷トランシルバニアから、人間が暮らすペンシルベニアに引っ越してきた！人間のお友達をたくさん作りたいけど、自分はみんなと少し違うから、受け入れてもらえるかどうかちょっぴり不安。でも、初めての世界はドキドキ、ワクワクがいっぱい！見た目は暮らしぶりが違っても、心を開いて仲良しになれば、楽しいことがたくさんあるんだね！

→原作は「ヴァンピリーナはバレリーナ」という絵本で、音楽についてはブロードウェイの作曲家が挿入歌を手掛けており、ファッションや小物や背景については、子どもたちにも馴染みがあるハロウィーンなどの可愛くてカラフルなデザインが取り入れられている。

友だち、家族の絆、ユニーク、思いやり、多様性といった要素がテーマとなった作品。

*自分は孫(もうすぐ5歳の男の子)と一緒に試写したが、この作品では、バンピリーナがこうもりに変身する際に、掛け声や合図などが特にないことについて気になったようだ。

*「クッキーにイモリとナメクジが入っているの？」という部分を孫が気に入っていた。

「クッキー作る時に入れないでね」と、この世界に入り込んでいる。子供のリアクションは面白い。

*20 時台の枠でもよく視聴されているようだが。

→ディズニージュニアチャンネルでは、昼間よりも、夕方から夜にかけての時間帯のほうが集中して視聴されているようだ。

*とても良い作品で、あまりにも面白かった。まず、キャラクターの表情が豊かで細やか。最近、小学生で表情がない子が多い。ゲームばかりしているので、ある意味、表情の硬い子が多い。表情というのはコミュニケーションの基本だと思う。

いつの間に CG はこんなに優秀になったんだろうと思うが、主人公の表情が素晴らしい。

*ポピーが自分の兄弟のエドガーに対して、バンピリーナの正体を隠す。彼女の秘密を守ってあげている。涙が出るくらいに感動した。ちょっと情報屋のような、不思議大好き少年に対しては、バンピリーナの正体を秘密のままにしてくれている。

*本当に関心のある人は、相手の情報を得て面白がるのではなくて、当人の寂しさとか不安とか喜びに対する関心で、その二つを区別して描いている。これは何に対する関心なのだろうかという、その区別を子供の頃から考えさせるというか、そういう意味でも素晴らしい作品だ。

*「隠す」のを見て面白いと思ったのが、素性或正体を隠すというのは古今東西、万国共通だという点。隠すことで生まれてくるコメディ要素が面白い。

*転校や引っ越しはよくあること。それが元で仲良くなる。基本的に子供同士のコミュニケーション。彼女の顔の色がブルーなのが、最初はそれを奇異に感じた。だが、そこが面白いとも思う。他の登場人物は肌色で、主人公だけブルーで珍しいという、使い分け。ストーリーが進むにつれて、それほど気にならない。

*吹き替えの声もいいと思う。自然に仕上がっている。

*挿入歌の訳詞も良い。

*音楽がシーンに合っている。

*バンパイアと聞いて、最初は「アダムス・ファミリー」のようなものを想像していたのが違った。友達、家族の絆、思いやりが全編出ていて素晴らしい。特に、個性がそれぞれあることを認めるという部分は、今は障害なども個性の一つとして見る流れもあるが、同じ人間なのだ、というのが全編に出ており、良く出来ていると感じた。

*深読みすると色々、面白い要素がいっぱい含まれている。

*こうもりに変身するのは驚いた。ドラキュラみたいなイメージがあった。

*自分も「ポーの一族」で育ったので、血を吸うのか怖い、というイメージがあった。

*こうもりが可愛い。とにかく可愛い。



- ・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成 30 年 12 月 10 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：
平成 31 年 1 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上